

第2回 新潟市北区体育施設指定管理者申請者評価会議 会議録

日時	平成30年10月11日（木曜）午後1時から午後1時45分まで
会場	北区役所 3階 第2会議室
出席委員	武田 丈太郎 新潟医療福祉大学 健康科学部健康スポーツ学科 講師 小菅 洋司 税理士 横山 山人 新潟市北区体育協会 会長 有田 一彦 新潟市スポーツ推進委員連盟北区協議会 会長
会議日程	1 開会 2 評価委員打ち合わせ（非公開） 3 申請者によるプレゼンテーション及びヒアリング（公開） 4 評価委員意見交換及び採点（非公開） 5 閉会
傍聴者	会議内容 参照
事務局	北区産業振興課 課長，課長補佐，文化・スポーツ係職員3名
会議内容	
小菅委員 プレゼンター 小菅委員 プレゼンター 小菅委員 小菅委員 プレゼンター	<p>1 開会</p> <p>2 評価委員打ち合わせ（非公開）</p> <p>3 申請者によるプレゼンテーション及びヒアリング（公開） 北地区スポーツセンター等</p> <p>①プレゼンテーション ～申請者 公益財団法人新潟市開発公社より3名 ～傍聴者 5名 ～その他 新潟市政策改革本部事務局 職員1名</p> <p>②ヒアリング</p> <p>・平成28年度公益目的事業会計（体育施設）について黒字だが，平成29年度は，大幅な赤字となっているが何が原因なのか。 → 工事のための積み立てていたものに，さらに持ち出しをして工事を実施したため，赤字となった。</p> <p>・平成30年度はそれほどの赤字にならないということか。 →赤字は一時的なもの。ただし，これまで新潟市水族館からの収益があったが，これが分離されたことにより，開発公社全体の収支が厳しくなっているのが現状。</p> <p>・全体の体質的に問題はないと思われる。</p> <p>・収支計画にある本部経費がこの事業の収益と認識してよいか。 →基本的にはその考えでよいが，本部の人件費等運営経費に充てている。公益目的事業になるのでそこでは収益を上げられない。</p>

<p>小菅委員 プレゼンター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本部経費はどのように按分しているのか <p>→今回の公募区分ごとの上限額に応じて按分している。</p>
<p>有田委員 プレゼンター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・IT弱者への対応，支援に係る対策について <p>→予約システム等については，窓口タッチパネル方式の端末を用意，スタッフが一緒に説明しながら対応している。</p>
<p>横山委員 プレゼンター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある人からのSOSへの対応について <p>→SOSコールの実績はないが，要請があれば職員が対応する。障がい者駐車場の屋根の設置について，区役所と引き続き協議していく。</p>
<p>武田委員 プレゼンター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・e-sportsについて，具体的な進捗状況について <p>→新潟市内の民間事業者が他市で行う先行事例を参考に進めていく。来年度の実施については，情勢を見ながら市とも協議し調整していく。</p>
<p>有田委員 プレゼンター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・稼働率アップの実現可能性について <p>→施設及び教室のPR，フロアカーリング等気軽にできるイベントを開催し実現できると考えている。</p>
<p>有田委員 プレゼンター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・福利厚生について <p>→パート職員を除く，正職員，嘱託職員，臨時職員について，厚生年金等全て加入している。</p>
<p>有田委員 プレゼンター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所指定について <p>→隣の北地区コミュニティセンターが避難所として指定されているので，避難所運営検討会に参加し情報共有している。もしもの場合には全面的に協力していく。</p>
<p>～プレゼンテーション・ヒアリング終了</p>	
<p>4 評価委員意見交換及び採点（非公開）</p>	
<p>5 閉会</p>	